



舞鶴小だより

平成29年9月4日号 文責 学校長 相河竜治

2学期の始業式「ま・い・づ・る」で頑張ろう!!

私の方から、「2学期は楽しい行事もたくさんあり、目標と夢をもって頑張りましょう」ということ、さらに2学期の目標に関して、「ま・い・づ・る」の言葉に合わせて4つのがんばってほしいことを話しました。

「ま」の「あいさつ運動」では、旗振り当番のお父さんやお母さん、地域の安全安心ボランティアさん、地域の知っている人にあいさつしましょう、特に、暑

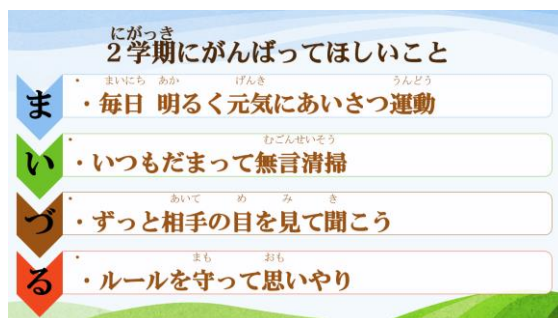
い中、皆さんの安全のために旗振り等をしてくださっている地域の安全安心ボランティアさんに「こんにちは」とか「ありがとうございます」という挨拶をしましょう、と話しました。

「い」の「無言清掃」では、黙って掃除をして心を磨くように掃いて拭きましょう。心がピカピカになるように、きれいになるようにがんばりましょう。「汚いなあ!」と気がついたところは進んで掃除しましょう、という話をしました。

「ず」(「づ」を「ず」に変えました)の「目で話を聞く」では、先生の話だけでなく、グループの話し合いや二人で話すペアコミでも相手の目や顔を見て聞きましょう、という話をしました。

「る」の「おもいやり」では、相手の嫌がることや傷つくようなことは話さないしないという人間関係のルールを守りながら、親切にするなどの積極的な思いやりをしましょう、という話をしました。

最後の場面でアンパンマンが登場すると、子ども達はビックリしながらも歓声を上げていました。「アンパンマンも校長先生もみんなのことを応援しているので、目標や夢を持ってがんばりましょう!」と締めくくりました。



P T A 環境整備作業 (親子クリーンアクション)

本当にありがとうございました!

8月19日(土)に、学校教職員・保護者・児童200名以上参加していただく中で、PTA環境整備作業を行いました。今年度は、教室や玄関、トイレ、階段、廊下の通常環境整備作業に加えて、教室の高所にあるエアコンや天井扇のそうじをしていただきました。お陰で、教室の隅々まできれいになり、気持ちよく新学期を迎えることができました。心から感謝しております。



今日から観察自由!!

舞鶴小ビオトープ開園式

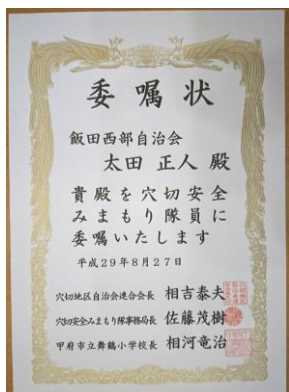
夏休み中に、小さな川のせせらぎを聴くことができる、小さいけれども豊かな自然を育んだ舞鶴小ビオトープが完成し、9月7日(金)の3時50分より、校庭西側に新生なった同ビオトープで、開園式を開催しました。参加者は、学校教職員の他、岩下PTA会長と山田春日地区育成会長、石山相生地区育成会長、中澤穴切地区子供クラブ副会長、そして児童会役員と6年生です。



舞鶴小ビオトープでは、水中の生き物や昆虫、鳥などがたくさん集まる「夢のビオトープ」にするため、子ども達から、例えば「鳥の巣箱を設置する」などのアイデアを多数募集し、それを学校と3地区の育成会や子供クラブの役員の皆様、そして保護者の皆様で審査し、その3者で実現する予定になっています。文字通り子ども達の夢をかなえる「学校・家庭・地域で連携したビオトープ」となります。この「ビオトープ子ども達の夢実現プロジェクト」に参加して下さる3地区の育成会や子供クラブの役員の皆様、保護者の皆様に心からの感謝を申し上げます。引き続き、皆様のご参加を募集しております。

穴切安全みまもり隊の委嘱状を贈呈

相吉穴切自治会連合会長には安全みまもり隊の名簿の作成を、佐藤穴切安全みまもり隊事務局長に作成にご協力いただき、同地区の各自治会長さんに全面的にご協力いただく中で、現在見守り活動をしている、もしくはこれからご協力いただける方に「委嘱状」をお渡しすることができました。関係者の皆様に心からの感謝を申し上げますとともに、みまもり安全隊の皆様には、これからもよろしくお願いたします。



危険予知の避難訓練実施!

9月1日(金)に、「今、〇〇にいたらどのように身の安全を守り、そこからどういうルートで避難するのか」という、避難訓練を行いました。〇〇に入るのは、玄関や図書室、階段、中庭などです。

「この場所で危険なところはどこですか?」とか、「その危険から身を守るためにはどうしたら良いですか?」という担任の先生の問いかけに、子ども達は真剣に答えていました。「自分の命は自分で守る」ことができる子どもを育成する良い機会になったと思います。

